

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本



2022年本屋大賞

全国書店員の投票で選ばれたベスト10

2020年12月〜2021年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

大賞

『同志少女よ、敵を撃て』

逢坂冬馬(早川書房)

2位

『赤と青とエスキース』

青山美智子(PEEP研究所)

3位

『スモールワールズ』

一穂ミチ(講談社)

4位

『正欲』

朝井リョウ(新潮社)

5位

『六人の嘘つきな大学生』

浅倉秋成(KADOKAWA)

6位

『夜が明ける』

西加奈子(新潮社)

7位

『残月記』

小田雅久仁(双葉社)

8位

『硝子の塔の殺人』

知念実希人(実業之日本社)

9位

『黒牢城』

米澤穂信(KADOKAWA)

10位

『星を掬う』

町田そのこ(中央公論新社)

Supported by

NOLTY® PAGEM
ノルティ ペイジェム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。